

令和元年 第10回 教育委員会定例会議事録

招集日時 令和元年8月28日(水曜日)午後1時開会/午後2時50分閉会

招集場所 加賀市民会館3階 15会議室

教育長 山田利明

出席委員 篠原隆一、山下裕嗣、疎幹子、佐野明子

会議列席者 梶谷事務局長、越中谷次長兼学校指導課長、小茂出教育庶務課長、宮下生涯学習課長、新家中央図書館長、
柏田山中図書館長、宮本教育総合支援センター所長、喜多スポーツ推進課長、北口文化振興課長、
山下教育庶務課長補佐

令和元年第10回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

○山田教育長 今年の夏も大変暑い夏でしたが、ここ数日は涼しくなりまして、いよいよ学校の方もあさってから2学期が始まるということで、子ども達がまた賑やかに元気よく学校に戻ってきてくれることを期待したいと思います。

教育委員会はお盆明けからいろんな事業がありました。8月17日～23日までポルトガル柔道の選手が世界選手権の事前合宿ということで、加賀市武道館で練習をされました。その大会の成績を見ていましたが、女子52キロ級の選手が5位に入賞されました。活躍されてよかったなと思っておりまして、男子のほうは期待できる選手がこれから出てくるということで、またインターネットのほうでこれからの選手の活躍を注目していきたいと思っておりますし、ポルトガルに戻られたころには、こちらのほうから「御苦労さまでした」と労いの手紙を出して、来年のオリンピックにつなげていきたいと思っております。

そして23日、24日に数理女子ということで、第一線級の数学者が全国から、一番遠い人はニューヨークから集まっていたいて、正方形を変形させて敷き詰めていく、そんなことができるんだという実習を通して、数学は身の回りであって面白いんだなということを、2日間で延べ22家庭44人の親子が学びました。その作品は教育委員会の入り口に貼ってありますので、また見ていただければと思います。

そして、きのう、きょう、あすとシンガポールから講師を招いて、STEM教育、教科を横断的に身の回りの課題を解決するというをどうやって教えたらいいということで延べ42人の先生方が実習しました。今日の新聞にも出ておりましたし、交流プラザさくらの3階でやっておりますので、またご自由にご覧いただければと思います。

それでは議件に入っていきたいと思います。本日の審議事項は5件です。

はじめに議案第83号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について、こちらにつきましては前回からの継続審議となっております。ご覧になられて御意見、御質問を出していただきたいと思います。いかがでしょうか。

○篠原委員 38ページに教職員人事評価制度の活用と書いてあります。これは大変いいことだと思いますが、この評価結果が処遇に反映しているのかということが一番気になっているわけです。形式的なもので終わりがちなところがあるので、これをもっと実のあるものとして、先

生方、職員の皆様方にきちんとした目的を持って教育活動を行なっていただかないといけないので、その処遇がどのようなかたちで反映されているかお聞きしたいです。

○山田教育長 越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 人事評価制度につきましては、県の教育委員会からの指示に基づいて行いますが、今年9月に評価が行われて、今回から初めて一般教職員も12月の処遇に反映されることになりました。これがスタートとなります。以前は管理職まででしたが、今回からすべてとなります。

○篠原委員 ありがとうございます。先生方の意欲を高めるような評価をぜひ行なっていただきたいと思います。

続いて39、40、41ページについて確認をしたいのですが、まず1つ目は39ページで、今年度「わたしたちののびゆく加賀市」を全面改訂するという事をお聞きしております。それと昨年度のまとめですけれども、「加賀市の歴史」を部分改訂したということで載っております。結局それがどのように活用されているのかが非常に大事になってきます。教員の中には教科書に追われてしまって、教科書をこなすことで手一杯だという現状も見受けられないことはないです。3、4年生の「わたしたちののびゆく加賀市」については比較的よく活用されているし、子ども達1人1人に1冊ずつもらえるので、それは活用されていると思いますが、平成30年度に部分改訂された「加賀市の歴史」については学校のストックになっているわけですね。ですからこれをなかなか子ども達が日常的に学習するところまでは至っていないのが現状なんじゃないかと推察されます。ふるさと学習を教育委員会では非常に大切な基本方針として謳っている、郷土を愛する心を育てるということで謳っているわけですから、ぜひ「加賀市の歴史」という6年生用の冊子を6年生の子ども達に分けていただけないかなと思います。そしてこの「加賀市の歴史」を使ったいろいろな講座をやっていただきたい。例えば生涯学習課で実際にやっていただくとか、具体的なかたちでのふるさと学習です。生涯学習課のふるさと学習はいわゆるふるさと探検隊だとか、そういうことが40ページに書かれていますけれども、参加者も昨年度は計4回開催して延べ39人ということは約10人弱で多くないですよ。意識の高い保護者の皆さんは自分のお子さんを連れて加賀市中を探検して回っているということはお聞きしていますし、そういう探検隊長となる子どもも増えてきたということは素晴らしいことだと思いますけれども、やはり何らかのかたちで具体的にこういうものを使った講座みたいなものとか、実際にツアーとかをやらないとふるさとを育む、郷土を愛する心を育成するためのものとしてはなかなか具体化しにくいかなと思います。

最後に現在のところは市内の展観施設3施設を見るということで、今後はもうひとつの施設を増やしていきたいということも書かれておりました。具体的にどの施設にどの学年で行っていくのか、もし予定に入っていましたら教えていただきたいです。

○山田教育長 まず「加賀市の歴史」、6年生の副読本をどのように活用しているかということ、そしてこれを配付できないかということです。それをういた講座を実施できないかというような要望と質問になりますね。ですからはじめの2つは学校指導課、3つ目は生涯学習課になるかと思います。

そして展観施設は、どの施設にどの学年が行うのかということですね。越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 6年生の「加賀市の歴史」についてどの程度活用されているかということは、こちらの方では残念ながらまだ把握できておりません。それについてはまた学校の方に問い合わせたり、アンケートをとったりしてせつかく作りたいものですから、十分活用されるようにしていきたいと思います。ただ6年生全員に配布というのは今年度予算等もつけていないので、これについては今後検討させていただいて、活用も含めていいものにしていきたいと考えています。

展観施設の数値目標の小学校見学施設数で令和3年度が4施設と書いてありますが、実は市としてこの施設という想定はまだしていません。小学校では4、5、6年生でずっと前から3施設で固定化されているのでできたら増やすことができればよいのですが、学校ごとに北前船の里資料館とか、山中の文化会館とか行っているところがあるのと、実はSTEAM教育との関連で、地域を調べて発信するという取組みも山代小学校のほうで取り組んでみようかなと考えているところで、そういうものも含めて各学校で自分の地域にある良い施設、ふるさとを調べて発信するというところも力を入れていきたいと思っています。あと総合的な学習の時間で、学校の方でもできるだけふるさとの方に特化したものでできないかということで推進していきたいと考えております。

○山田教育長 宮下課長、お願いします。

○宮下課長 「加賀市の歴史」を拝見したことがないので、現物を見て検討させてください。

○篠原委員 「加賀市の歴史」については子ども達向けに作られましたが、大人が読んで也是非常わかりやすい冊子です。グラフ形式で写真がいっぱい載っていて、ぜひご覧になっていただきたいと思いますが、それをもとにした大人向けの講座でもいいと思っていますくらいです。このような素晴らしい資料が加賀市で作られていますので、その資料をぜひ活用してほしいというのが私の願いであります。

以上です。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 17ページですが、授業改善に向けた取組みの成果と課題への取組みの中に「一方で、依然として講義型の授業を行っている教員もいるため、さらなる授業改善が必要である。」という文言が、おそらく昨年ここにあったと思います。昨年もさらなる改善、今年もさらなる改善、いつまでもさらなる改善なのかなと。具体的なものが何かあるのか、先ほどの先生方の評価の部分にも関係してくるのかもしれませんが、その辺について今年行なっているさらなる改善の目指すところが何かあれば教えていただきたいというのがまず1点目です。

そして31ページの宿泊体験学習についてです。大土、市の谷とか市内の施設を利用されているということでございますが、大規模なものがないという中で制限があるということでございました。私の個人的な見解かもしれませんが、もちろん市内ではそれだけの施設は持っていませんが、南加賀とか広域で考えると小松市、白山市には少年自然の家があったりします。そういったものを活用しての規模を大きくできるようなものを検討することはなかったのかなと思いついて。小規模なのでどうしても制限がありますというふうなことで終わっているのではなくて、じゃあ制限のないような、少し規模が大きいようなところの検討はなかったのかなという疑問がございましたので、よろしく願いいたします。

あとは65ページの学校の教育活動の家庭、地域への発信についてです。今、おそらくすべて

の学校、小中高、大学なんかもそうですが、学校側からパソコン・スマホを利用した情報の発信等々が盛んなのはこの通りだと思います。その中で「学校と家庭・地域が双方向に意見を交換していくシステムの構築」という文言があって、実際問題これができれば素晴らしいことですが、個人情報保護の観点とかその辺から考えると、これが果たして実現できるのかなど。双方向に意見を交換していくシステムの構築というのがどれくらいまで具体的に見えているかなというのが知りたかったものですから。今私の中では双方向は難しいなと思っていますが、何かしら双方向のシステムが見えているようであればその辺をご紹介いただきたいと思いますのでございます。

○山田教育長 1点目は授業改善、昨年との違いということで、2点目は宿泊体験、大規模の学校は他市の施設を使っていることは検討できないのかということ、3点目は双方向の発信が実現できるか、また方向性がどのようになっているのか、その展望はどうだろうかというお話だったかと思います。

この3点について越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 17ページの授業改善のさらなる改善ということで、今年度は学校の方に1時間の授業の中の最後に振り返りというのを、加賀市の教育委員会の最重要項目として校長研修会や他の会で先生方に通知しております。何かというと、一方的な指導ではなくて、今だんだんお互いみんなで学びあって高めあう方向に、来年度から新学習指導要領もそうなるので、そういう方向になっていって、今年加賀市としては良い振り返りができるようにと伝えてあります。ただ質の高い振り返りというのは、良い課題、学びたくなる課題が与えられてそれをもとにみんなで質の高い学びあいがあって、結果として良い振り返りが出てくるということになるので、当然1時間の授業すべてが良い授業になっていかなければならないので、そういうのを進めてほしいというのは今年、特に伝えてあります。それを受けて全国学力学習状況調査の方で児童生徒アンケートというものがありますが、1時間の中で自分たちは学びあいできたかというアンケート結果が年々上がってきて、今年のアンケートも高い数値が出ているというところで、結果は出てきているかなと思っています。ただ小学校の方はかなり進んでいます、なかなか中学校の方はまだ少し改善の余地があるということで、さらなる改善ということで書かせていただいています。

2点目の宿泊体験施設についてですが、市の施策としてできるだけ加賀市の施設を使いたいというのがスタートになっているので、市外の施設を推奨することは実はしていません。ただ実際に学校の方はあわら市の施設とか小松市とか白山市にも行っていますし、能登へ行ったケースもあったかと思います。たくさん子ども達がいる学校はそちらの方を今もたくさん使っています。

それから63ページの双方向システムについては、書いてはありますが、実は具体的に何というイメージをはっきり持っているわけではありません。授業公開等も含めていろいろ意見交換しながら高めあっていく、学校評価もしていただきながら進めていくというところで今は止まっているので、これは今後こちらからもこういうものはどうかと発信もしていこうと考えています。

○山下委員 ありがとうございます。最後の双方向のシステムで、小松市立高校がクラッシーというシステムを使ってログインをすると保護者アンケートができる場所があります。結構

活用されていませんが、そういう外部的なものを利用するとか、その辺の方向性ができていたのかなと思ったものですから御質問させていただきました。

○山田教育長 今後はそのようなことは十分考えられますね。

他、ございませんか。

○篠原委員 45、46 ページの安全・安心な学校施設整備のところですか。まず 45 ページの防災機能強化の推進ということで、備蓄をしましたと書いてあるわけですがけれども、残念ながら東和中学校に防災対策課が備蓄をしたと、防災倉庫に備蓄をしたと。これだけだと避難してきた方の対応をしきれないということがあるので、私が現職のときに錦城東小学校では学校独自で備蓄を始めています。いくらでもできる方法はありますので、各地域住民が安心して避難できるように、各学校に継続的に計画的にぜひ推奨していただきたいです。

それから 46 ページの成果と課題のところ、「令和元年度には全ての学校の普通教室の冷房化工事を完了するが」と書いてありますが、令和 3 年度の冷房化率の数値目標が 64 パーセントと書いてあるわけです。矛盾しているので 100 パーセントじゃないかと思いますが、その 2 点です。

○山田教育長 各学校に備蓄を推奨したらどうかということと、普通教室の冷房化の比率についてですね。小茂出課長、お願いします。

○小茂出課長 45 ページの学校の防災機能強化の推進ですが、このページは主に太陽光のことを書かせていただきました。そこで成果と課題への取組みでは備蓄倉庫のことも書きましたが、今後、防災担当課と各学校に推奨できるかたちを協議していきたいと思います。

46 ページの冷房化ですが、確かに普通教室は 100 パーセント設置完了します。64 パーセントというのは特別教室も入れてしまったかもしれませんので確認します。誤りでしたら修正させていただきます。

○篠原委員 1 回、各学校にどれだけ独自の防災備蓄があるのかお聞きになったらいかがかなと思いますが、今のところ錦城中学校と錦城東小学校しかそういうことは取り組んでいないだろうとは把握しております。また教育委員会で防災対策課と協議しながら、避難者が安心できるような避難所を作るために必要なことかなと思いますので、よろしく願いいたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○疎委員 プログラミング教育についてなんですけど、せっかく交流プラザさくらにいい施設ができましたが、私の知り合いのお孫さんが県外から遊びにきていて、どこかいい施設がないかと話をしている、プログラミングの施設がありますよと言いましたが、どんな物が置いてあるのか、どういうことができるのか、大人の方はあまり知らないのかなと思ひました。その方は大聖寺の方だったので、ぜひ行ってみてくださいと言いましたが、大聖寺以外の方だったら大人の人と一緒にないと来られないですよ。ですからぜひ大人の方にも周知していただけるように、でないともったいないかなと思ひました。

○山田教育長 もっと啓発周知に努めるべきではないかということで、宮下課長いかがですか。

○宮下課長 今年 11 月に市民文化講演会をさせていただきますが、またプログラミング関係のお話になるかなと思うので、そういう機会をまた活用して周知していきたいと思ひます。

○疎委員 特に子どもは大人と一緒にないと来られないので。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 細かいことで、137 ページの成果と課題への取組みのところでは、一番最後の「公開手法や資料の軽洋について」とあって意味がわからなかったのが1点です。

そして143 ページも成果と課題への取組みのところでは「入館者の好評か」で高い評価だと思いますが、2点についてお願いします。

○山田教育長 北口課長、お願いします。

○北口課長 137 ページの「軽洋」は「活用」ということでお願いいたします。143 ページの「好評か」は単純に変換ミスですので、「高評価」に訂正をお願いいたします。

○篠原委員 今のところの中身的なところでお願いいたします。まず140 ページの地域活動支援の充実の基本計画のところでは、「各地域まちづくり活動団体の活動を支援します。」と書いてあります。そこに書いてある「わが家の家宝展」は大聖寺で行なっていることですが、主催団体の方からぜひ市に保存されているものを貸していただきたいというような要望が出てきています。支援することを目指すと書いてあるので、前向きな方向で、もちろん責任を持って保管するということも言っていますので、ただでさえ歴史民俗資料館等で公開されていない現状の中において、我々が毎年大聖寺地区でやっている「わが家の家宝展」は非常に多くの方が見に来られます。そこで市の素晴らしい文化財をぜひお貸しいただきたいということをお願いしたいと思います。

それから139 ページの歴史文化資産の平成30年度の施策の①地域の文化資源を活用した集客・交流事業のところでは、ふるさと的人物調査啓発事業ということで、今年のはほんごコンテスト、中学生向け読本と書いてあるわけです。それを残念ながら拝見したことがないので、もし作られたならばそれをお教えいただきたいと思います。

それから141 ページの加賀市らしさを継承する担い手の育成の課題への取組みのところでは、「後継者養成事業の新設を目指し」と書いてあります。令和元年度には具体的にはどういうことをやられているのか、あるいはまだ計画をされている途中かもしれませんが、それもわかりましたらお教えいただきたいと思います。

○山田教育長 1点目は市の資料の貸し出しについて、2点目にはほんごコンテストについて詳細を教えてください、3点目は後継者養成講座の新設について教えてくださいということです。北口課長、お願いします。

○北口課長 地域活動の支援について、市の所蔵している指定文化財もあればそうでないものもありますけれども、最近、歴史民俗資料館が閉館になりましたから、そういった公開を望む声は非常にございます。市としましては当然しっかりと壊れないように、保管、移動、そういったものができるということで、通常であると指定文化財ですといわゆる博物館、そういった貸し出しが多いので、そういった場合は取り扱い等がしっかりとされますが、それ以外の方々については例えば移動するときは学芸員がちゃんと監視する、展示・移動等については保険をかける、あとは展示室には必ず監視員をおく、そういったところが基本的な事項になるかと思っています。基本的に触らないで見るということが前提ですけれども、それを理解していただいて、場所を確保できれば、行政として展示の機会が設けられないので、そういった民間の方々とか、管理団体の方々が借りたいということであれば、可能な限り協力はしたいと思っておりますけれども、やみくもにあれもこれもということではできないので、またそれは相談をさせていただきたいと思います。

次にほんごコンテスト、中学生向け読本ですけれども、これは主に予算的には観光交流課の方でやらせていただいております、山代の「明覚上人あいうえお」を作った方ということで、山代の地域学習としてそういった本の作成、及び啓蒙として、今年日本語として年末に全国から募集をしまして毎年1月に発表しております。一昨年が「ことほぐ」、今年は「たまゆら」でいわゆる明覚上人にちなんだ日本語を通して地域の方々が交流をするということでございます。今年も講演会をしたりしていきたいという話は聞いております。

141 ページの後継者養成事業ですが、新設というわけではございませんが、御松囃子の後継者がいないという話もありますので、後継者を養成するために学校にいたり、そういったところで県の補助金の活用であったり、そういったことに支援をしています。

また終わったものと言えば山中の木地挽物についても、国の文化財ではないですが、非常に大事な技術だということで、一昨年から支援をしていただいておりますので、こういったものの中で活動したいということに対しては、なんらかの行政的な支援等をできたらなと思っております。ここで新たに新設というのは踏み込み過ぎたところはあると思いますが、そういうお声があれば必ずしも文化財ではないかもしれませんが、そういった伝統芸能については支援をしていきたいと思っております。

○篠原委員 ありがとうございます。いろんな後継者団体で本当に後継者が不足しているということで、皆さん民間で一生懸命頑張っているという現状なので、ぜひいろんなところで支援できることがあったら、ご支援をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

最後に 156 ページをご覧ください。考古・歴史・民族資料の保護ということで、成果と課題の最後のところです。「出土品や収蔵品の特性に合わせた展示や見学者の利用に応じた公開ができるように検討する。」と書いてあります。我々としては歴史民俗資料館をなんとかしてもう1度開いてほしいということが強い願いであります。その見通しがあるのか、ないのか、ぜひ前向きに検討していただけないかと思っております。以上です。

○山田教育長 北口課長、お願いします。

○北口課長 歴史民俗資料館が閉館となった経緯としまして、美術館が加賀温泉駅前の方と分かれたことがあって非常に入館者が減って、当時の資料を読み返すといわゆる費用対効果が閉館された主な理由になります。先ほど言われたように、こういう教育施設については公開の機会を得る非常に大事な施設だというお声はお聞きますが、あの建物自体が老朽化して、まずあそこでの開館はなかなか難しいと思っておりますし、実際にやろうと思うと費用的なものが非常にかかると思っております。よく問い合わせで見せてほしいということもありますが、基本的には研究目的の方々にはお見せしますけれども、危ないということもありますので、歴史民俗資料館の中には基本的には入っていただいております。他にも施設が4つ5つありますが、その施設自体もかなり老朽化しており、施設の運営と閉館というのは課題が大きいかなと思っておりますけれども、文化財保護審議会の方でもお声を聞いておりますので、ぜひなにかできないかと。なかなか有利な補助金も見受けられないので結構ハードルは高いかなと思っておりますが、ただそういったことばかり言っていないで、大きな課題として引き続き検討させていただきます。

○篠原委員 結局、教育的な施設なので、いわゆる費用対効果というものには馴染まないのでは

はないかな、あるいは市に対してふるさと教育を推進するというかたちで加賀市教育委員会は謳っているのですが、このふるさと教育を具現化するための一番わかりやすい施設がその施設じゃないかなと思います。具体的にはその場所は耐震化もできていないので大変だと思いますけれども、例えば交流プラザさくらの一室だとか、フロアを利用しながら、文化振興課として市民に見せるような取組みをしていただきたい。どこでもいいです。とにかく主催して見せていただきたい。いろんな特集のテーマを設けたもので結構だと思いますけれども、そういうことをしないと、ますますその中のものが死蔵化され、尚且つ経年劣化をおこすというようなことで非常に心配をいたしております。やはり大切なのは現在ある文化財をきちんと保護・保存していくことだと思いますし、そのためには見せていただいて、そして学芸員の皆さんの研修も踏まえていながら士気を高めていただきたいと思います。ぜひそういう機会を文化振興課の主催として不定期で結構ですからなんらかのかたちでやっていただくような機会をこれからも設けていただきたいと思います。せっかく素晴らしいものがあるのに、それを知らない市民の方がたくさんいらっしゃいます。ふるさと教育の一環から推し進めていただきたいと思います。以上です。

○山田教育長 今、体育館の横の収蔵庫についてでしたけれども、中央公園内の収蔵庫はどうですか。

○北口課長 あちらには白山麓の民具や発掘した土器などを収蔵してあります。収蔵庫として、展示ではなく収蔵して保管してあります。

○山田教育長 空気を通すとか保存のための配慮はしてありますか。

○北口課長 この間も民具であると、藁とか木とかがありますので、防虫、あとは通常の換気、天日については痛まないように保護処理をしてあります。

○山田教育長 先ほども経年劣化の話がありましたが、もう二度と手に入らないようなものもたくさんあると思うので、やはり保存状態を良くしてやっていかないといけないと思います。よろしく願います。他、ございませんか。

○山下委員 82ページの地域リーダー等人材の育成のところですが、各公民館での地域の担い手となるリーダーの人材発掘のための活動紹介や登録ということで、良いことだと思っていましたが、実際のまちなみに出てみるとこの声が全く聞こえてこないということもあって、見ると確かに「利用が低迷し、内容も更新されていなかった」とありました。まちなみのせんせい派遣事業を廃止し、今度は加賀市人材バンクを開始すると、なんとなくネーミングだけ変えたのかなど。これでは結局結果は同じになってしまうと思うので、何かしらこれを加賀市人材バンクとして、まちなみのせんせい事業でなかったPRの仕方とか、そういうのが具体的に見えていれば教えていただきたいと思います。

○山田教育長 宮下課長、お願いします。

○宮下課長 この地域リーダーの人材バンクですけど、前は放課後子ども教室で教えてくれる先生がいないかというところから始まったようなので、当初は子どもを相手に教える人というような位置づけで運用していましたが、各放課後子ども教室でそういうノウハウができてくるとわざわざ先生を呼んだりしなくなったりしてあまり活用されなくなったという経緯を聞いておりました。今回は子どもだけに限らず、地域の大人にも教えられると枠を広げまして、名前も変えました。公民館にもこういうことをやりますとお知らせしました。状況は年度途中で

まだ聞いておりませんが、もし活用が低調なら何かの機会に使っていただくように周知を考えたいと思います。

○山田教育長 具体的にどこでPRするとか、何か具体的に考えていただきたいなと思っております。他、ございませんか。

○疎委員 確認ですが、29ページの生徒指導の充実で、休み明けのこの時期だからですが、10代には限らないと聞いていますが、各学校で自殺とかいじめの対策はされていますかね。

○山田教育長 越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 自殺等については今、報道等でも8月末から9月頭にかけて全国的に増えるという警告が出ていますが、それと関連になります、不登校もやはり学期はじめのときに来にくくなる状況が多くなる傾向があるので、校長会を通して早期対応ということで学校の方で丁寧に対応してほしいということと、それから始まってからではなく始まる前に状況・様子を見ていただきたいとお伝えしました。先日は教育長の方からも2学期が始まって宿題を集めて、宿題が出ていないのでもうすぐに出しなさいという、そういうことがいかななものかと。子どもの気持ちに寄り添って気持ちよく、元気よく2学期を迎えられるように丁寧に指導をしてほしいという話もありました。効果的な、劇的に減らす対策はなかなかないのですが、子ども達の様子をしっかり観察できるようにすることが大事になってくるということで、ちょっと今懸念されているのは、教員の働き方改革でどうしても忙しくなればなるほど子ども達の姿が見にくくなり、小さな変化に気づけなくなるので、両面から丁寧に対応するように伝えてあります。

○山田教育長 特効薬がなかなかないので、できることを順番にとということだと思います。他、ございませんか。

○佐野委員 加賀市のスポーツ施設があらゆるところで老朽化していると思いますが、老朽化して部分、部分で修繕していくのではそれがずっと続くと思います。大規模ではありますけど、思い切ってスポーツ全般ができる多目的の大きい施設というのは今後、考えたりしていますか。

○山田教育長 喜多課長、お願いします。

○喜多課長 今ほどの体育施設につきましては、30年から40年も経過している施設が体育施設では22施設ありますけれども、そのほとんどがそういう状態でありまして毎年修繕で費用がかかっている状況であります。今ほどおっしゃられた大きな多目的な施設を作ることになりますと、それに対する費用もかかりますし、場所のこともございます。今のところは現存の施設を今後いかに使っていけるかという部分を、公共施設マネジメントを踏まえまして統廃合を検討したり、修繕が必要な施設は優先順位を見極めまして修繕をしていくということで考えております。

○佐野委員 大きなお金がかかることですが、将来を見越したら、日本からも世界からも集まることを考えると、そういった施設があると違うかなという気はします。

○山田教育長 そういう施設ができるといいですが、方向性として今はそういう話はないですか。

○喜多課長 そういった大きな施設の話は今のところはありません。スポーツセンターにつきましては避難所としても位置付けされており、そちらの方の修繕の方が優先順位は高いということになっております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○梶谷局長 事務局の方からですけれども、46 ページの成果と課題のところ「平成 30 年度までに小学校は 26 校中 4 校」、その上の実績で「令和 3 年度で小中学校 25 校中」とありますが、誤っています。48 ページも数値目標の違いがございます。申し訳ございません。さかのぼるといろいろありますので、精査して直しておきます。

○山田教育長 もう一度見直しをよろしくお願いいたします。いろんな意見がでましたけどよろしいですか。課題がいろいろ出たと思います。すぐにとりかかるべきものと中長期的に考えていかなければならないものが出たと思いますけれども、聞きっぱなしではなくて、これを各課でどのようにしていくかということを中心にきちんと考えていただきたいと思っております。なお、この報告書はこれまで田邊教授の評価をいただいておりますので、ここで賛同できればということになっております。報告書は 7 ページに載っております。それでは御意見、御質問いろいろありましたが、改善していただく方向として、議案第 83 号、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決いたします。ありがとうございました。

続きまして議案第 86 号、令和元年度 9 月補正予算（案）について小茂出課長お願いいたします。

● 議案第 86 号 令和元年度 9 月補正予算（案）について

小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何か御意見、御質問ございませんか。よろしいでしょうか。

それでは議案第 86 号、令和元年度 9 月補正予算（案）について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決いたします。続きまして議案第 87 号、平成 31 年度全国学力・学習状況調査の加賀市結果概要について越中谷次長、お願いいたします。

● 議案第 87 号 平成 31 年度全国学力・学習状況調査の加賀市結果概要について

越中谷次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何か御意見、御質問ございませんか。

○疎委員 家庭学習というのは塾とは別ですか。

○越中谷次長 塾は含めません。

○疎委員 塾に行っている子もいますか。

○梶谷局長 可能性はありますね。

○山田教育長 他、ございませんか。

○篠原委員 小学校においては石川県よりも成績が良くて大変嬉しく思っております。これは教育委員会の皆様方、あるいは各学校の先生方が一生懸命頑張られた成果だと思います。ひとつ気になっているのは、各学校において学力調査の結果にばらつきが出てきているのではないか

と予想されます。例えば比較的小規模校の場合は成績が良く、大規模校は平均並みになってしまうところがでてきてしまうと思いますが、加賀市の小規模校と中規模校を比べてばらつきがはなはだしくあるのかあまりないのか、その状況を教えていただきたいです。

○山田教育長 越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 小学校の小規模校はその学年の構成人数でかなり毎年変わってきます。昔は小規模校が割と高めということがありましたが、大規模校もかなり上昇していますので、一概にはそうとも言えないかなと感じております。ただ経年比較もしていて小学校4年、小学校6年、中学校3年で同じ子どもがどういうふうに変化したかというところは見させていただいて、やはり小4、小6、中3で延びれば一番良いですが、そこが下がっていったりしたときには個別にその学校に理由をしっかりと把握して対応してほしいということは伝えてあります。

○篠原委員 ありがとうございます。子ども達が順調に伸びていてもらいたいというのが我々の願いなので、ぜひ経年比較の大切さを各学校に伝えていただきたいと思います。よろしくお願いたします。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 家庭学習が減っているという数字も出ていますが、各家庭での塾率のようなものは把握できないのかなと。山中地区は塾率が高いと言われていますが、実際他と比較できない部分もあり、もしそういうのが比較できて、統計がとれれば何か判断材料にならないかなという、これは意見です。

○山田教育長 通塾率は把握しているかということですが。越中谷次長、お願いします。

○越中谷次長 把握はしていません。調査とかアンケートも今までとったことがないと思います。公営塾というので、今かも丸塾とかをこちらでやっているの、それも含めて今後の参考意見として聞かせていただきます。

○山田教育長 他、ございませんか。よろしいですか。

それでは平成31年度全国学力・学習状況調査の加賀市結果概要について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決といたします。

続きまして議案第88号、加賀市教育総合支援センター運営検討委員会委員の委嘱について宮本所長お願いいたします。

- 議案第88号 加賀市教育総合支援センター運営検討委員会委員の委嘱について
宮本所長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何か御意見、御質問ございませんか。

○篠原委員 この運営検討委員会は年間に何回くらい開かれますか。

○山田教育長 宮本所長、お願いします。

○宮本所長 昨年は初めてセンターを創設しましたので、1回目は方針等について審議していただく会、2回目は1年間を通しての評価等をいただく会ということで、基本的には今年度は2回を予定しております。中間に1回と、最終的な1年間の評価ということで、計2回を予定

しております。

○山田教育長 他、ございませんか。

○山下委員 割と充て職が多い中で、教育支援センターをどんどん進めていくうえで、継続的な審議・協議をするべきものがあると思います。であれば、もちろんあて職でもいいですが、例えば2年間は職が変わっても協議が一段落するまではという方向性も検討されてもいいのかなという意見でございます。

○山田教育長 宮本所長、いかがでしょうか。

○宮本所長 運営規程ということで、私の一存で変えることはできませんので、学校指導課と協議した上でということになるかと思えます。

○山田教育長 P T A連合会の会長さんは1年間でかなりお仕事も休んでいただいているということで、職が変わったのにもう1年していただくというのは、ハードルが高くはないかもしれませんが、検討させていただきます。ただ全員というのは難しいと思います。他、ございませんか。

○佐野委員 皆さんお忙しい方ばかりだと思いますが、出席率はいいですか。

○宮本所長 昨年度はP T Aの会長さんが忙しかったのですが、基本的には全員出席していただいております。

○山田教育長 他、ございませんか。ないようでしたら議案第88号、加賀市教育総合支援センター運営検討委員会委員の委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決いたします。続きまして議案第89号、加賀市いじめ等生徒指導連絡協議会委員の委嘱について越中谷次長お願いいたします。

● 議案第89号 加賀市いじめ等生徒指導連絡協議会委員の委嘱について
越中谷次長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何か御意見、御質問ございませんか。この2年間というのは先ほどの議案第88号と同じだと思いますが、こちらも検討する必要はございますか。

○篠原委員 できれば同じ方が続けてというのが一番望ましいわけですよ。どうしても致し方ないこともあるかと思いますが、できるだけ続けていただいた方がいいかなとは思っています。

○山田教育長 検討していただきたいという要望を言っておいた方がよろしいですかね。

○山下委員 先ほどの教育総合支援センターと違うのは、いじめというものが固まっておりますし、今から進もうとする教育総合支援センターとの差異で見るとある程度かたちが見えているので、これは充て職の方がいらっしゃってもいいのかなと私は思います。

○山田教育長 疎委員、いかがですか。

○疎委員 お仕事とかに差し障りがあると今後、連合会長をしてくれる方は大変だと思います。この方は会社員なので会長をしてくれるのは本当に有難いです。

○山田教育長 佐野委員もそれでよろしいですか。

○佐野委員 はい。

○山田教育長 そうしましたら、こちらについては2年継続ということは特に検討してほしい

ということは申しないということによろしいですね。以上を含めまして議案第 88 号、加賀市いじめ等生徒指導連絡協議会委員の委嘱について賛成の方は挙手をお願いします。

○委員 全員挙手

○山田教育長 全会一致で可決いたします。以上で審議事項は終わりました。続いて報告事項に入りたいと思います。3件ありますが、3件まとめて説明をしていただいて、そのあとはまとめて質疑応答というかたちで進めてまいります。

それでは報告第 44 号、石川県民体育大会における加賀市選手団の成績についてから説明をお願いいたします。

- 報告第 44 号 石川県民体育大会における加賀市選手団の成績について
- 報告第 45 号 ポルトガル柔道選手団の東京2020オリンピックの事前合宿の決定について
喜多課長 資料に基づき説明
- 報告第 46 号 加賀市小中学校の勤務時間記録の集計結果について
越中谷次長 資料に基づき説明

○山田教育長 報告事項が3件ありましたが、こちらについて御意見、御質問などございますか。

○篠原委員 勤務時間のことですが、働き方改革ということで新聞報道にも出ておりましたけれど、やはり抜本的な定数改善を行わない限り、現場の先生方がこれ以上どうすればというような状況だろうと推察されます。ですからやはりこれは県や国に向かって強力で定数改善を要求するような方向にしていかなないと、ますます先生方はやりたいことがいっぱいあるのにできないと、かといって子ども達と接する時間も多くとりたいという矛盾に襲われる可能性があります。これ以上現場の先生方にああしろ、こうしろというのは非常に酷だと私自身は感じますので、やはり教育委員会の方から県、国に対して予算要求のときに定数改善の要求をしていたくように切にお願いをしたいと思います。特に答弁はおりません。

○山田教育長 このことは新聞に出ていた通りで、県教委の担当者は定数改善をしないとやはり解決がつかないと、県の教育長もよくおっしゃっています。現場で今できることを力いっぱいやって、それでもできないということを訴えながら定数改善を促していきたいということをおっしゃっています。ただなかなか難しいという現状はあります。他、ございませんか。

○佐野委員 ポルトガル柔道選手の事前合宿ですけれども、以前話を聞いたときにウエイトトレーニングの器具が足りないみたいな話が出たと思いますが、その辺を改善されて今回の合宿の満足度はどうだったのでしょうか。

○山田教育長 喜多課長、お願いします。

○喜多課長 ウエイトトレーニングの器具につきましては、去年は選手がいきいきランドに行って使っていたと聞いております。今年度の合宿につきましては、加賀体育館の方に器具をレンタルしたものを設置しまして、そちらの方でトレーニングを行なっていただきました。バーベルを持ち上げたりするような器具を置かせていただきました。選手の方からは怪我の状態や

体の状態もあるということで、投げたりする練習はできないので、走ったりする練習がしたいという要望を受けまして、そちらの方は加賀体育館に準備してありませんでしたので、そういった選手につきましては今回もいきいきランドの方に行って対応させていただきました。満足度につきましては選手が大会中でありまして、まだそういったお声は確認していませんけれども、来年度に向けては事前に選手からの要望を確認して準備していきたいと思っております。

○山田教育長 レンタルで対応したということで、冷房がかかるようにレンタルで対応しました。本当に暑い時期でしたから有効でした。以上で報告事項は終わりました。それではその他も5件ありますので、それぞれ説明をお願いいたします。

- 加賀市小中学校科学作品展の開催について
越中谷次長 資料に基づき説明
- 芭蕉祭山中温泉全国俳句大会について
- 加賀市グッドマナーキャンペーンの実施について
- 加賀市民映画祭の開催について
宮下課長 資料に基づき説明
- 教育ITソリューションEXPOについて
小茂出課長 資料に基づき説明

○山田教育長 これについて何か御意見、御質問はございませんか。よろしいですか。
それでは次回教育委員会定例会の日程について小茂出課長、お願いいたします。

- 次回教育委員会定例会の日程について
小茂出課長 説明

○山田教育長 今回は9月20日金曜日、午前9時からということで予定に入れておいてください。以上で第10回教育委員会定例会を閉会いたします。御苦労さまでした。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。